

# STYLING

## MONO

クイックシルバーは直訳すれば「水銀」であるが、急激な動きそのものを指す意味もある。このブランド名は創業者のアラン・グリーンに性格を「水銀のように変幻自在」とガールフレンドがいったことがきっかけとなって命名された。



### VOL.29 QUIKSILVER SINCE 1969~

●【クイックシルバー】

Photo/Tomoaki Tsuruda (WPP)、QUIKSILVER

Text/Teruhiko Doi (WPP)

古代ポリネシアの人々が漁の帰りに波に乗り始めたのが始まりと言われるサーフィン。長い歴史はあるもののそれが表舞台に登場したのは1960年代になって初めてマリンスポーツのひとつとして認知されるようになってから。そんな黎明の時代である60年代の末に、競泳パンツとは姿形が異なる独特のショーツがオーストラリアの二人の若者によって生み出された。アラン・グリーンとジョン・ローという豪トッキー出身の二人のサーファーが作ったショーツは、競泳パンツ姿の波乗りとはまったく違う新しいサーフィンのスタイルを生み出したのである。70年代以降のビーチカルチャーは間違いなく、彼らのブランド「クイックシルバー」がリードしてきた。今日もなお、その精神は受け継がれ進化を続けている。





# STYLING

## MONO



コンペティターとフリーライド。サーフィンというスポーツに対して競技を主軸に置くのか、それとも競技とはまったく無縁の世界で楽しむのか。どちらが良い、悪いという話ではなく個人の哲学が大きく影響するのがこのスポーツの独特な世界観だ。



製品に縫い付けられたクイックシルバーのメダリオンは軟らかなナイロン系の素材で出来ている。



DOUBLE-UP CLOSURE  
ウエスト部分のサイジングを2段階で調整可能。運動時、リラックス時と使い分けられる。



憧れのケリー・スレーターのサインがウエストベルト内側に印されている。

サーフィンの世界では「レジェンド」と呼ばれる伝説的なサーファーが数多く存在する。サーフィンの腕だけではなく、その人柄も含めた人間性が、後の人々に憧憬にも似た感情を抱かせていることが多い。伝説的な出来事、というのは現在進行形で推移している場合において、しばしばその大きさや偉大さを過小評価しがちであるが、ケリー・スレーターに関してだけは誰もがその伝説の目撃者であることに幸せを感じているのではないだろうか。1992年に20歳という史上最年少の若さで、世界チャンピオンとなり、以来20年間にわたってトップサーファーとしての地位に君臨し続け、39歳となった昨年、2011年シーズンでなんと、自身が持つ最年長でのタイトル獲得を再び更新するという離れ業を成し遂げている。彼の偉業の前では、常識的な定説など何の説得力も持たないのである。クイックシルバーが今年展開する『ケリー・スレーター・モデル』は、アーティスティックなグラフィックとパフォーマンスを重視した画期的機能。ケリーの記録と共に進化を遂げているボードシューズである。



肌の接触面を30%軽減させたダイヤモンドドビーデラックスという生地で形成されている。

LYCRA® AT INSIDE FRONT RISE  
ライクラ®を前股上に縫い込む事により摩擦軽減に加えて伸縮性能が進化し強度がアップ。

ムラ染めが施されたデザインの中で光るシグネチャーモデルの証。キーなどを入れる防水ジップポケットは必須。

個性的でスタイリッシュなボードシューズ『ケリー・スレーター シグネチャーモデル』。ウエストはサイジングを2段階で調節可能。水着と肌面の摩擦を軽減してくれるダイヤモンドドビーデラックスの履き心地は、水着の進化を実感できる快適さである。価格9975円(カラーは7色)



## MONO



ハワイの伝説的サーファーであるエディ・アイカウを記念したコンテスト「クイックシルバー・イン・メモリー・オブ・エディ・アイカウ」は、80年代以降のサーフィン大会のあり方を決定付けた。同社主催の記念すべきサーフィンイベントであった。

### ビーチファッションの方向性はクイックシルバーが指し示した

サーフィンというカルチャーが世界的に広まったのは、60年代のハリウッドで撮られた楽園ハワイのイメージが大きく影響している。世界各地の海岸線に登場したサーファーたちはやがて独特のスタイルを構築していった。ハワイやカリフォルニア、そしてオーストラリアはその情報発信の中心となり、サーフィン先進地域としていまもその地位は不動のものがあるが、60年代〜70年代の文化的価値観であったカウンターカルチャーの香りは、当初から人々の興味を大きく引き寄せる魅力があった。クイックシルバーがオーストラリアから登場したとき、サーフィンという海のカルチャーとアパレルという陸のカルチャーを融合させたスタイルが、若者たちを夢中にさせた。特に機能性の高いショートパンツなどの製品に斬新なアートのワークがデザインされたスタイルは、競技以外のシーンでは野暮ったさがどうしても目立った他のスポーツウェアとは一線を画す存在だった。ある意味、その後のスポーツウェア・デザインの方向性に影響を与えたともいえるだろう。考えてみれば、アートとテクノロジーの融合は、21世紀の価値観である。早い時期から環境意識の高いサーファーたちが活動を続けてきたことも含めて、クイックシルバーというブランドのフィロソフィーは未来を見越し

たカウンターカルチャーの正道だったといえるだろう。1969年に作られた同社の最初のボードショーツは、スクエアレッグカットという細いウエストバ



ンであるスクエアレッグやスキヤロップレッグ、アーチレッグといったシルエットが登場。素材開発なども積極的に行われた。80年代はクイックシルバーというブランドが世界に広まった時代。飽くなき技術革新へのスタンスと、時代の流れを先取りするアートのワークを見事に融合さ

せている。90年代以降はサーフルックアパレルの流行の波に踊らされることなく着実な歩みを続け、21世紀に入っても創業当初からのチャレンジャーなスタイルは、硬直した時代の価値観に向けて発信され続けている。高機能とアートのワークの融合はこのブランドの魂であり続けている。



現代とは異なり、織りネームになっているブランド創業当初のロゴマーク。黒い背景に白鳥をかたどったスワンロゴは現在、大変なコレクターズアイテムとして高値で取引されている。



右が70年代に使われていたロゴマークのデザイン。それをさらにシンプルにアイコン化したものが、現在も使用されている左のデザインである。



サイドに柄パターンをアレンジした斬新なデザイン。ボードショーツ黎明期の傑作である。



カラフルなファブリックデザイン。70年代のビーチでどれほど主張したのか想像に難くない。

### オールドスクールの魅力

いわゆる伝統的なスタイルを指す「オールドスクール」は、時代の先端を行く「ニュースクール」との対比で使われる言葉だが、サーフィンの世界ではボード・デザインや競技の際のトリックなどでも、この言葉が使われる。過去のデザインやスタイルに新しさを見出すのはサーフィンの世界だけではなく、ファッションや音楽の世界では当たり前のこと。それをいかにカッコよく、そして上手く流行に乗せるのがブランドの力量なのである。それはさておき、クイックシルバーの昔のボードショーツは、オールドスクールの魅力が満ち溢れている。スタイルやデザインの提案と同時に、サーフィンカルチャーのこれからの考えるヒントになりそうだ。



ほぼ同じ時代だが、少し年代が新しくなるとスナップボタンにもきちんとクイックシルバーのロゴマークが刻印されたものが使用されている。



クイックシルバー創業当初のモデルのスナップボタン。よく見ると何の刻印もない。これは創業当初、生産数が少なかったため、なのさうだ。



クイックシルバーはサーフだけでなく早くからスケートやスノーの横乗り系スポーツへの参入を果たしていた。そんなブランドの方向性を象徴するようなデザインのロゴマークは、70年代初頭に登場した。クイックシルバーの永久的なシンボルともいえる山と波がデザインされたこのマークに、多くの若者たちが憧れを抱いたのである。このボードショーツは70年代の製品。QUIKSILVERの文字がプリントされたオリジナル生地が使われている。



# STYLING

MONO

クイックシルバー製品に関する  
お問い合わせは  
クイックシルバー・ジャパン  
0120-32-9190  
<http://www.quiksilver.co.jp/>



右:創業者であるアラン・グリーン、  
そしてジョン・ロー。  
左:1969年に創業された  
クイックシルバー社。  
若者が立ち上げたブランドである  
ことを象徴するような写真。



進化を続けるクイックシルバーのボードショーツ。  
ダイヤモンドビーデラックスを使用し、  
摩擦を軽減した生地の上乾性と、サラサラとした快適感は画期的。



街履きもできる新しいスタイルの  
水陸両用モデル

HA HA HEY AMPHIBIAN 21  
水陸両用モデル。前のポケットやベルトホルダー  
が付き、ジオシメトリックなプリントが  
クールさを演出。価格8400円



世界のトップサーファーをサポートするために  
考え抜かれたディテールを凝縮したサーフモデル

CYPHER REYNOLDS REVOLT 21  
ディーン・レイノルズのシグネチャーモデル。  
新しいプリント技法によりデニムのような  
風合いの変化を楽しめる。価格9975円